

The United Nations International School (UNIS) Program
高校生国際会議 参加者募集

1. プログラム概要

アメリカ・ニューヨーク市にある国連国際学校では、国連国際学校の高校生、名大附属の高校生、新モンゴル高校の高校生、名大の大学生が、グループワークを通じて、各国のSDGsの現状について理解を深める高校生国際会議を開催します。本プログラムはWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の一環です。

No	学年・UNIS 生徒数	トピック・活動日(※11月7日サマータイム終了)	人数 9名
1	11年生 国際バカロレア(IB) 外国語話者3名 担当教員：舩谷	トピック：各国のSDGsの現状について調べて発表する。 活動日(全5回)： 10月(非同期)：自己紹介、Flipgridで動画をUp 11月(同期)：文化交流 11/2(火) 21:30～22:30 11月(同期)：プロジェクト説明 11月中旬/下旬 12月(非同期)：各グループで活動 1月(同期)：発表準備 1/25(火) 22:30～23:30 2月(同期)：発表 2/8(火) 22:30～23:30	3名
2	10年生 外国語話者10名 担当教員：田中	トピック：各国のSDGsの現状について調べて発表する。 活動日(全5回)： 10月(非同期)：自己紹介、Flipgridで動画をUp 11月(同期)：文化交流 11/22(月) 22:30～23:30 11月(同期)：プロジェクト説明 11月下旬 12月(非同期)：各グループで活動 1月(同期)：発表準備 1/31(月) 22:30～23:30 2月(同期)：発表 2/14(月) 22:30～23:30	5名
3	11年生 国際バカロレア(IB) 母語話者1名 担当教員：山口	トピック：このコースは、異なる多様な形式、媒体のテキストにふれ、探究的な学習を通して、批判的思考と分析力を培い、さまざまな概念や言語そのものへの理解を深め、国際的な視野を持つことをねらいとしています。今年度は、カフカ「変身」、多和田葉子「犬婬入り」、非文学として映画、広告、インタビューなどを扱うことを予定しています。隔週1回の授業のため、毎回「テキストを読んでくる」または「発表準備をしてくる」ことなどが宿題になります。授業内では、事前に読んだ作品に関するディスカッション、または事前にまとめたものをプレゼン発表、質疑応答するなどを行います。 活動日(全8回)： 11/2(火) 顔合わせと説明、課題の提示 11/16, 11/30, 1/11, 1/25, 2/8, 3/1, 3/15 実際の活動	1名

2. 国連国際学校概要

国連本部の職員や各国代表部等の子弟を対象として設立された学校で、国際色が豊かである。英語による授業が行われているが、第2・第3言語習得のため、フランス語、スペイン語、アラビア語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語またはロシア語を学ぶことができる。また、環境問題や慈善活動にも積極的に取り組んでいる。

参考 URL:

https://www.mofa.go.jp/Mofaj/toko/world_school/03n_america/sch3014000201.html

<https://www.unis.org/>

3. プログラム参加資格

- ・日本語母語話者、もしくは、日本語能力試験 1 級を有し、グループワークを管理・運営できる言語能力を有する者
- ・英語が堪能であり、グループワークを管理・運営できる言語能力を有する者
- ・高校生が主体となるグループワークを英語及び日本語でファシリテーションできる者
- ・持続可能な開発目標のミッションに共感し、当該ミッションの学習を希望する者
- ・国連国際学校の授業や活動に興味があり、一緒に積極的に活動できる者

4. プログラム参加方法

- ・プログラムの参加を希望する場合、以下フォームにご記入下さい：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeK77RYwHPCnco5ZPzmwVH3kp0vhFZS7HcaxOWM87oRVtcv_g/viewform?usp=sf_link

回答締め切り：10月12日(水)

- ・10分程度の簡単なオンライン面談を10月13日～15日の昼休みの時間帯に実施します。Google Formに希望する面談可能な時間帯を記入して下さい。追ってZoomリンクをメールでお知らせします。面談実施後、募集人数は9名ですので、本プログラムの理解度、志望理由、言語能力などを総合的に考慮の上、プログラム参加可否を決定し、連絡します。
- ・プログラム参加が決定後、No.1～No.3の活動グループが決定します。活動グループ決定後は、皆さんのGmailアカウントを活動グループのGoogle Classroomに登録します。

5. プログラム参加に伴う報酬

- ・本プログラムの大学生の役割は、グループメンバーとして調査・議論するだけでなく、グループ活動の進捗管理、高校生の意見を引き出したり、話をまとめたりするなどのファシリテーターとしての役割であり、グループ活動を牽引する重要な役割を担っています。
- ・そのため、活動実績に応じて、**最大20時間で1時間あたり1,060円の謝金を支給**します。
- ・謝金支給の手続きはプログラム参加決定後、個別に連絡します。

6. 本プログラムの問い合わせ先

本プログラムについて質問がある場合、以下宛先までお問い合わせ下さい。

教育学部 留学生担当教員 谷口紀仁 (taniguchi.norihito@i.mbox.nagoya-u.ac.jp)

以上